

第1回 「HiSoPra*研究会（歴史社会言語学・歴史語用論研究会）」のご案内

社会と場面のコンテキストから言語〔変化〕の歴史を捉えることを主旨とした研究会が立ち上がります。研究分野名で言うと、「歴史社会言語学」と「歴史語用論」の研究会ですので、「HiSoPra*研究会（歴史社会言語学・歴史語用論研究会）」という名称です(HiSoPra*: HIstorical SOciolinguistics and PRAgmatICS)。

下記の要領でその第1回研究会を開催いたします。多くのご参加をお待ちしています。

参加料無料ですが準備の都合上、あらかじめ最下のフォームを利用していただき、3月7日(火)までに、HiSoPra*研究会事務局 (hisopradesk@gmail.com) 宛に参加の申し出をしていただくと、大変にありがたく存じます。

第1回 「HiSoPra*研究会（歴史社会言語学・歴史語用論研究会）」のご案内

日時： 2017年3月14日(火)、13:30~18:00

場所： 学習院大学北2号館10階 大会議室

(<http://www.gakushuin.ac.jp/mejiro.html> の15番の建物が北2号館)

タイムテーブル：

13:30-13:40 はじめに(研究会の趣旨説明など)

13:40-14:25 研究発表(1)：

佐藤恵(学習院大学大学院、日本学術振興会特別研究員)

「ウィーンにおける話しことばと書きことば：1750-1850年

— モーツァルトの書簡、ベートーヴェンの筆談帳、『ウィーン新聞』における前置詞 *wegen* の統語的振る舞いに注目して」

14:30-15:15 研究発表(2)：

森勇太(関西大学)

「近世・近代日本語の申し出表現の東西差—授受表現の運用に着目して—」

15:30-18:00 大討論会

「社会と場面のコンテキストから言語〔変化〕の歴史を見るということ
—歴史社会言語学・歴史語用論の現在そして未来—」

指定討論者：青木博史(九州大学)、家入葉子(京都大学)、

小野寺典子(青山学院大学)、堀田隆一(慶應義塾大学)、

堀江薫(名古屋大学)

司会：高田博行(学習院大学)、椎名美智(法政大学)

(この討論会では、指定討論者に各10分の提題をいただき、そのあと参加者全員でたっぷり議論したいと思います。)

18:30- 懇親会

会費4000円(学生は3000円)、会場はJR目白駅すぐ

参加下さる方は、下記フォームをコピーペーストしてご記入の上、

HiSoPra*研究会事務局 (hisopradesk@gmail.com) 宛、3月7日までに送信下さい

=====

参加申し込みフォーム

お名前(ふりがな)：

ご所属：

メールアドレス：

懇親会に 参加します・参加しません(どちらかをお消し下さい)

=====